



できるのに着替えない



■子どもの行動の例

できるのに着替えない



例) 着替えの場面

■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
パジャマのズボンをぬぐ	●		
ズボンの右足をとおす	●		
ズボンの左足をとおす	●		
ズボンを引き上げる	●		
シャツに頭を通す	●		
シャツの右手を通す	●		
シャツの左手を通す	●		

子育てヒント①



我が家に赤ちゃんがやってきた♡

わざと怒られることをする！言うこと聞かない！



子どもは赤ちゃんに対して嬉しい、かわいいなどの気持ちが芽生えると思います。しかし、これまで、ぼく（私）だけのママ（パパ）が、いつも赤ちゃんとお過ごし、お世話をしている姿を見ていると嫉妬や寂しさもでてくるでしょう。子どもは、どうにかして自分に注目を向けたいという理由から、ふざける行動や悪い行動をとることがあります。そうすると親は次第に怒ることが増えて、子どもとの関係性が難しくなる可能性があります。回避するために、子どもの良い行動に注目して、子どもとの時間を大切にしましょう。

子育てヒント②

オムツを変える時や授乳の時に子どもと一緒にできる、お世話を考えてみましょう。

例えば、授乳の時に上の子を片方のひざに座らせ、一緒に歌ったり、赤ちゃんに絵本を見せてあげるなどと子どもが参加できるお仕事を考えましょう。そして協力してくれることをほめましょう。時には、上の子どものだけの時間（1分程）をとり、大好きな気持ちなどを具体的に言葉にして伝えましょう。短い時間でも自分だけに向けられる言葉や愛情は、子どもの自尊感情を高めることが期待できるでしょう。もし「ちょっと待って」や「少しだけ、あっちに行っておね」と対応した場合には、後でなるべく早く子どもとの時間をとりましょう。

例題の「できるのに着替えない」で考えてみましょう。

子どもは、園では着替えができています。しかし家では着替えない。

## ■前向き子育てのコツ

### 具体的にほめる

子どもが、寂しい思いをしている時や、親子関係が難しくなっている時にこそ、親が望むゴールの行動ではなく、子どもの当たり前に行っている行動に注目し伝えてみましょう。

「着替える時間がよくわかったね」「パジャマが脱げたね」

子どもに近づいて具体的にその行動をほめると良いでしょう。

(子どもの行動をほめる時も教える時も、子どもの目の高さに合わせると伝わりやすくなります)。

具体的にお子さんの場合を考えて書いてみましょう。

■ \_\_\_\_\_ くん(ちゃん) \_\_\_\_\_ ができたね。



子どもが、できるはずの行動をしない、やりたくないという時は、注目されたいという理由ばかりではありません。疲れている時や体調が悪いことも考えられます。子どもの様子を見て、必要ならば手助けをして、励ましながら関わりましょう。

## ■前向き子育てのコツ

### 愛情を表現する

(子どもと良い関係をつくるために)

子どもに対する関心や思いを子どもに伝える方法の1つは、触れ合いによる、たくさんの愛情表現です。子どもが気にかけてもらっていると感じながら成長できるでしょう。子どもにとって大切な人達に愛情を示したり、愛情を受け取ったりすることを心地よく感じる事が大切です。小さな子どものころの愛情表現は、親との繋がりが強くなる事が期待できます。

- 例) ・手をつなぐ  
・触れる  
・ハグ  
・一緒に座る



■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568  
(前向き子育て 担当 石橋)

今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず